



◀ 猟師によるわな教室

狩猟の世界を体験しよう

2月4日、高知工科大学で、香美市主催の狩猟フォーラムが開催されました。

当日は、(株)野生鳥獣対策連携センターの安部豪さんを講師に迎え、『くくりわな』や『捕獲檻^{おり}』による捕獲技術についての講習会が実施されました。どうすればシカやイノシシの捕獲頭数を増やせるのか、動画や対策事例を交えながら分かりやすく説明され、来場者らは熱心に聞き入っていました。

その後行われた『まるごと試食会』では、シシ汁やおにぎり、アメゴ塩焼きなどの無料試食のほか、シカのから揚げやシカコロケの販売があり、おいしいジビエ料理を囲んで、たくさんの来場者が舌鼓を打ちました。その他にも、シカの装飾品づくりや青空料理教室、わな体験教室、ベテラン猟師との座談会などいろいろな催しが行われ、多くの来場者でにぎわいました。

スポ少連絡協議会表彰

2月4日、宝町体育館で、平成28年度香美市スポーツ少年団連絡協議会表彰式が行われました。

この表彰は優秀な成績や記録を収めた個人・団体に贈られるもので、今年度は舟入ジュニアバレーボールクラブ男子に優秀賞が贈られました。舟入ジュニアバレーボールクラブは、平成28年度四国ブロックスポーツ少年団バレーボール交流大会男子の部において、見事優勝を果たしています。



2月26日、香北青少年センター周辺で、ピットリ駅伝、ピットリマラソン、ちびっこマラソンが開催されました。

ピットリ駅伝、ピットリマラソンでは、それぞれ参加者自身が設定したタイムを目指し、ちびっこマラソンでは速さが競われました。

- 【大会結果】各種目1位**
- ピットリマラソン 梶原務(タイム誤差3秒)
 - ピットリ駅伝(9チーム) 香北陸上クラブD(タイム誤差46秒)
 - ちびっこマラソン
 - 低学年女子 森本結心
 - 低学年男子 亀井太一
 - 高学年女子 門脇奈々花
 - 高学年男子 小松吏政

市町村対抗駅伝競走 香美市Aチーム 11位

1月29日、第65回高知縣市町村対抗駅伝競走(安芸郡市体育会主催)が開催され、41チームが参加しました。天候にも恵まれた今大会は、室戸市から安芸市まで西進する8区間46.5kmで競われました。香美市Aチームが11位(2時間40分15秒)、Bチームが30位(2時間55分38秒)でした。

今大会では大西正晃選手が10年連続出場表彰を受けました。



▲表彰状を手にした大西さん(前列左から5人目)

栄光をたたえて 第5回 体育文化奨励賞

2月11日、香美市役所で第5回香美市体育文化奨励賞表彰式が開催されました。

この賞は、体育や文化の振興を図るために、平成23年1月に制定されており、今回はスポーツで功績のあった4名と1団体に贈られました。

木戸大地選手(高知工科大学) = 昨年7月に高知県で開催された第67回四国地区大学総合体育大会の陸上男子200mに出場し、優勝されました。

大久保優華選手(山田高校) = 昨年10月に岩手県で開催された第71回国民体育大会に、弓道近の少年女子団体のメンバーとして出場し、3位に入賞されました。

三谷義文選手 = 昨年10月に岩手県で開催された第16回全国障害者スポーツ大会に出場し、視覚障害者男子2部砲丸投げで優勝、同じくソフトボール投げでも第3位に入賞されました。

中本あかり選手 = 昨年10月に岩手県で開催された第16回全国障害者スポーツ大会に出場し、水泳知的障害少年女子25m自由形で準優勝、同じく50m自由形でも4位に入賞されました。

香美市役所では、香美市民や香美市出身者で、体育・文化関係の全国大会で入賞または四国大会で優勝された方や団体の情報を収集しています。情報をお寄せください。生涯学習振興課 ☎53-1082



▲前列左から大久保選手・三谷選手・中本選手・日本ベタンク選手権大会男子トリプルス高知県Aチームの岡村選手。後列左から、ベタンクの大和選手・小松選手。(木戸選手は都合により欠席)

日本ベタンク選手権大会男子トリプルス高知県Aチーム = 昨年10月に栃木県で開催された第31回日本ベタンク選手権大会の男子トリプルの部に出場し、優勝されました。メンバーは、香北町の岡村彰夫さん・大和啓志さん・小松誠さんの3名で、高知県予選を勝ち抜き、県代表として出場したものです。



▲努力が実を結び、笑顔を見せる大柝小3年生

1月22日、高知県教育委員会主催・高知新聞社共催による学校新聞づくりコンクール大会が開催され、大柝小学校が高知新聞社長賞に選ばれました。

これは、県内の小中学校および特別支援学校を対象に開催されているもので、今回は、68校で5729点の新聞が制作されました。大会では、1次審査を突破した15作品について、児童生徒による発表が行われました。

高知新聞社長賞に選ばれたのは大柝小3年生による作品です。日本一のユズ玉出荷量を誇る物部産ユズが、意外と認知されていないことに着目。同じくユズが特産の馬路村や北川村の関係者にインタビューするなど、丹念で多角的な取材が評価されました。